

123 鶏ウイルス性腱鞘炎／関節炎

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	<pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --- B["(2) 臨床検査"]     A --- B     B -- "(死亡鶏、鑑定殺鶏)" --&gt; C["(3) 剖検"]     C -- "(腱および関節)" --&gt; D["(4) ウイルス培養試験"]     C -- "(腱および関節)" --&gt; E["(5) 病理組織検査"]     D -- "&lt;発育鶏卵接種試験&gt;&lt;br&gt;&lt;培養細胞接種試験&gt;" --&gt; F["(+)" ]     D -- "&lt;発育鶏卵接種試験&gt;&lt;br&gt;&lt;培養細胞接種試験&gt;" --&gt; G["(-)" ]     E --&gt; H["(+)" ]     E --&gt; I["(-)" ]     F --&gt; J["(+)" ]     G --&gt; K["(-)" ]     H --&gt; L["(+)" ]     I --&gt; M["(-)" ]                     </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p>(+)                      (-)                      (+)                      (-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査、ウイルス培養試験等の結果により総合的に判断する。
その他	ウイルスが分離されても、他の検査結果を踏まえて総合判断する。

→類似疾病検査

- ① 130 鶏ブドウ球菌症 ② 129 鶏大腸菌症 ③ 120 鶏マイコプラズマ病

○ 病原体: 鳥類オルソレオウイルス; Avian orthoreovirus [*Avian orthoreovirus*, *Orthoreovirus*, *Reoviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 4～7 週齢のブロイラーに多発  
② 年間を通じて発生  
③ 不顕性感染が多い

② 発育鶏卵接種試験

材料: 病変部の腱および腱鞘

方法: 9～11 日齢発育鶏卵の漿尿膜上に接種  
(8 日間培養)

判定: 漿尿膜上のポック形成、漿尿膜乳剤から  
寒天ゲル内沈降反応で抗原を検出

(2) 臨床検査

- ① 跛行または起立不能  
② 発育不良および不揃い  
③ 腓腹腱の腫大、出血

(5) 病理組織検査

- ① 腱および腱鞘の非化膿性腱鞘炎  
② 腱鞘および周囲組織における線維素結合組織  
の増量

(3) 剖 検

- ① 腓腹腱および趾屈腱の水腫性腫脹  
② 腓腹腱の断裂、出血  
③ 足関節腔内に滑液の増量  
④ 関節膜の出血  
⑤ 足関節上部の結節性肥厚

(参考文献)

・鶏病研究会編: 鳥の病気.

1) Bruhn, S., et al.: J. Vrol. Method. 123, 179-186  
(2005).

(4) ウイルス培養試験(培養細胞接種試験、発育鶏卵接種試験)

① 培養細胞接種試験

細胞: 鶏腎細胞

材料: 病変部の腱および腱鞘

方法: 37°Cで接種後7日間程度培養、CPE 陰性ならば盲継代を繰り返す。3代行っても陰性なら分離陰性とする。

判定: 融合性CPEの確認、HA 性陰性、細胞質内封入体の確認、蛍光抗体法による特異抗原の検出、PCR<sup>1)</sup>